

パートナーイベント

ヨコハマ・フットボール映画祭2021

ヨコハマ・フットボール 映画祭2021

会 期：2021年10月9日（土）～15日（金）
会 場：かなっくホール／横浜セネックス／シネマ・ジャック&ベティ
主 催：（特非）横浜スポーツコミュニケーションズ／
ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会
後 援：横浜市民局／（公社）日本サッカー協会／
（公社）日本女子プロサッカーリーグ WEリーグ／
（一社）神奈川県サッカー協会／（一社）日英協会／ブリティッシュ・カウンシル
対 象：サッカーファン、映画ファン
公式サイト URL：https://yfff.org

総来場者数（参加数）：1,000人

■開催内容

今年のヨコハマ・フットボール映画祭2021は、同年、日本初の女子プロサッカーリーグがスタートすることを記念した特集「WEリーグ誕生記念！女子サッカーを旅する一日」を中心に1月30日から2月5日に実施するべく準備を進めていた。

しかし、神奈川県に緊急事態宣言が発令されたことを受けて、本番1週前に開催日程未定のまま、延期を決定した。ただ、開幕日に予定していた大九明子監督（『私をくいとめて』）、栗林藍乃さん（アーティスト）、日々野真理さん（ジャーナリスト）による「女子サッカーを旅する一日スペシャルトーク」はオンラインに切り替えて実施した。

その後、関係各所の助言、協力を得て、同年の10月9日から15日に開催が実現した。仕切り直しとなった特集「WEリーグ誕生記念！女子サッカーを旅する一日」は岡島記久子WEリーグチェアによる講演からスタートし、『オリンピック・リヨン～女性サッカー最強チームの真実～』『壁を壊せ！ドイツサッカー 台北の奇跡-』、高校演劇「フットボールの時間」を上映した。

「フットボールの時間」の上映に際してはこの作品の元になった大正期に香川県丸亀高等女学校でフットボールが楽しまれていた史実について坂本春菜ディレクターから解説があった。同様に、『VOY！光と影の冒険 音声ガイド版』にてTOKYO2020パラリンピック ブラインドサッカー日本代表 高田敏志監督、『ディエゴ・マラドーナ 二つの顔』にジャーナリスト藤坂ガルシア千鶴さんと、作品に合わせたトークが実施され観客の作品理解を深めた。

そして『ユルネバ2021 眠らない街』では人気アイドルグループ仮面女子のメンバーによる舞台挨拶が行われ、満員の会場は大いに盛り上がった。

期間中、合計10作品が上映された。

また、前年にマラドーナが他界したことを受けて、マラドーナの実着用ユニフォームや「キャプテン翼」の高橋陽一先生によるマラドーナのイラストをはじめ、さまざまなサッカーカルチャーが体験できるヨコハマ・フットボールエキスポも好評だった。

サッカー外部団体とのコラボレーションによる多彩なトークショーが幅広い観客に訴求した。

■2021年度の新規取り組みとその成果・特色など

- ・過去10回の映画祭の上映作品のなかから、リクエストの多い作品10本を集めたオンラインシアターを展開した。
- ・視覚障がい者が取り組む競技“ブラインドサッカー”を扱ったドキュメンタリー『VOY！光と影の冒険』について、初めて収録版音声ガイドを作成した。

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

日本サッカー名蹴会「懐かしの日本サッカー」、（一社）S.C.P. Japan「スポーツ界でのLGBTQ+」、（特非）日本サッカー指導者協会「障がい者スポーツの指導」、YouTubeチャンネル ミルクサッカーアカデミー「日本代表分析」など、それぞれの持つコンテンツの発表を行った。

